

第134回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
売買目的有価証券	前受金	備品	備品減価償却累計額
支払手形	買掛金	未払金	未収入金
商品保証引当金	売上	仕入割引	固定資産売却益
仕入	発送費	減価償却費	修繕費
手形売却損	固定資産売却損		

- 平成24年9月10日に事務用ノートパソコン（取得日：平成21年6月1日、取得原価：¥360,000、残存価額：ゼロ、耐用年数：6年、償却方法：定額法、記帳方法：直接法）を新しいパソコンに買い換えた。新しいパソコンの取得原価は¥240,000であり、旧ノートパソコンの下取価額は¥40,000であった。下取価額を差し引いた代金は翌月末に支払うことにした。なお、決算日は3月31日で、買替えに際して当年度の減価償却費を月割計算により計上すること。
- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
- 大友商店では前期に販売した商品に対して修理の申し出があったので、修理業者に修理を依頼し、修理代金¥70,000を現金で支払った。なお、同店では、前期の決算において売上高¥20,000,000の0.5%を商品保証引当金に計上している。
- 商品¥2,500,000を徳川商店に売り渡し、代金のうち¥800,000については織田商店振出し、徳川商店受取りの約束手形を裏書譲渡され、残りの¥1,700,000については徳川商店振出しの小切手を受け取った。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	減価償却費	30,000	備品	190,000
	固定資産売却損	120,000	未払金	200,000
	備品	240,000		
別解	減価償却費	30,000	備品	30,000
	固定資産売却損	120,000	備品	160,000
	備品	240,000	未払金	200,000
4	商品保証引当金	70,000	現金	70,000
5	受取手形	800,000	売上	2,500,000
	現金	1,700,000		